

Title	情報源の明らかな選好関係を信念とした融合
Author(s)	鈴木, 義崇
Citation	
Issue Date	2004-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/950
Rights	
Description	Supervisor:東条 敏, 情報科学研究科, 博士

Fusion of Pedigreed Preferential Relations as Beliefs (情報源の明らかな先行関係を信念とした融合)

鈴木 義崇

北陸先端科学技術大学院大学

2004年1月8日

論文の内容の要旨

複数のエージェントの知識を混合するときに混合の操作を繰り返し適用していくとエージェント間の知識の矛盾をどうやって解消するかという問題が生じる。AGM 信念修正では解決できないこの問題を解くために信念融合の操作が提案された。しかしながらこの理論ではすべての情報源が全順序付けられていなければならない、応用領域が狭い。本論文において、著者は半順序付けられた場合の融合オペレータを形式化する。このオペレータを構築する際に、著者は可能世界上の全擬順序という表現にこだわらない。選好モデルは非単調推論の研究に基づくモデルであり、それぞれのエージェントに可能世界上の狭義の半順序を持つことを許す。特に、そのような順序は選好関係と呼ばれ、ある世界が別の世界よりも尤もらしいことを示している。著者は複数のエージェントの持つ信念として、信念状態、一般化された信念状態、選好関係、一般化された選好関係を導入し、エージェントの信念を結合する操作を導入する。さらに、我々はこの操作が通常の信念融合の操作を包摂するものであることを示す。

キーワード: 信念融合, 信念修正, 非単調推論